

2.2 地域脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

② タクシー会社におけるEV自動車の導入によるサービス・労働環境の向上

事業概要

事業者概要	事業者名	えともタクシー株式会社 (ごうぎんリース株式会社)
	業種	運輸・郵便
事業所	所在地	島根県
	総延床面積	56m ²
補助金額	補助金額	約21.8万円
	補助率	5% (総リース料に対する)
主な導入設備	従前設備	LPG車 (1台)
	導入設備	EV自動車 (1台)
事業期間	稼働日	2021年10月
区分		更新
特長		EV自動車導入により、月々約5万円かかっていたLPG燃料代が抑えられ、ランニングコストが軽減した。また、EV自動車に更新されて走行時のエンジン音が静かになったことで、お客様へのより快適な空間提供、及び労働環境の改善に繋がった。

システム図

実施前



LPG車



社外スタンド

実施後



EV自動車



会社敷地内の充電スポット

写真

電気自動車



EV車用充電器



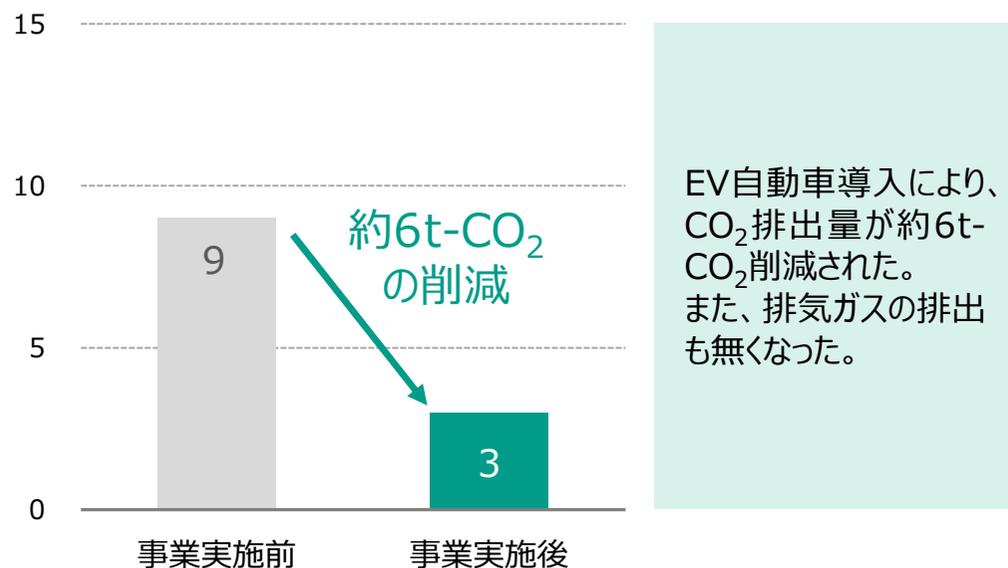
②タクシー会社におけるEV自動車の導入によるサービス・労働環境の向上

事業の効果

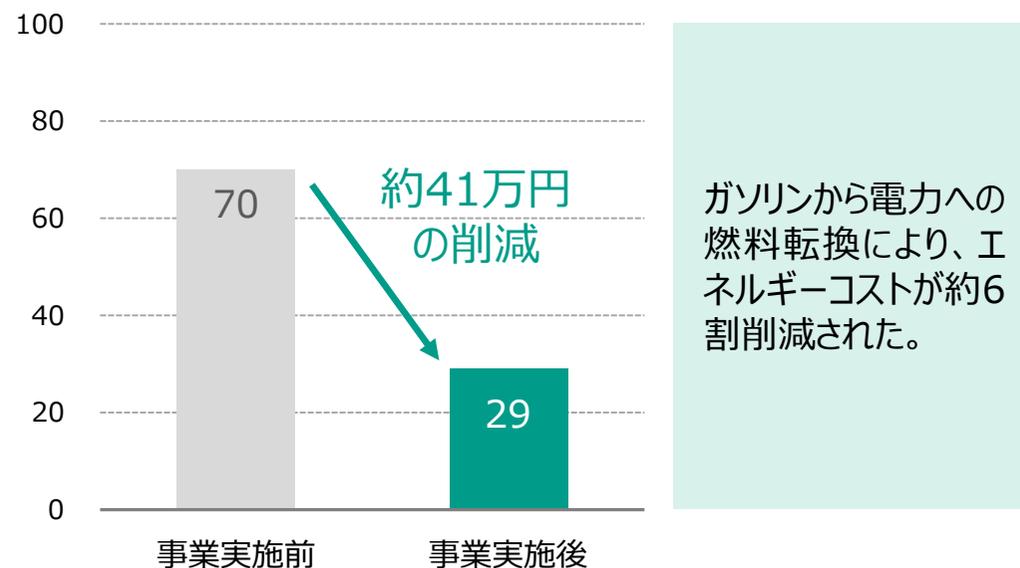
エネルギーコスト削減額		約41万円／年
投資回収年数	補助あり	約10.1年
	補助なし	約10.6年

CO ₂ 削減量	約6t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	8,387円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】

※ ここに示す事業の効果は、電力単価：45.6円／kWh（ヒアリング値）を用いて試算したものである。

②タクシー会社におけるEV自動車の導入によるサービス・労働環境の向上

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「EV自動車への更新」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- EV自動車への更新により、月々のランニングコストが、従来使用していたLPG車と比較して5万円を削減できた。
- 以前はLPG車だったため、しばしば走行音が運転時の弊害となっていたが、EV自動車導入により走行音が軽減し、快適な走行空間の創出に繋がった。
- これまで10km以上離れたガススタンドに行って給ガスしていたが、自社敷地内に充電スポットを設置したことで、給ガスの手間が軽減された。また、公共の充電スポットではなく、充電設備を敷地内に設置したことで、更なるコスト削減の実現を期待している。

電気自動車導入による走行音の低減

実施前 LPG車のため、走行時の振動や走行音があった



実施後 EV自動車導入により、走行音が静かになった



EV自動車導入により、**走行音の静寂性**が増した。

給ガスの手間を省略化

実施前 スタンドに赴いて、給ガスが必須



実施後 自社内の充電スポットを設置したため、給ガスが不要

【自社敷地内】



給ガスの手間が無くなり、**労働環境**が改善した。

②タクシー会社におけるEV自動車の導入によるサービス・労働環境の向上

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



安達 淳也
代表取締役

- EV自動車に更新したことで給ガスの手間を省き、燃料費のコスト削減ができました。
- また、LPG車と比較した際の騒音低減や、内装の広さによる快適性にも繋がり、労働環境の改善を図ることができました。
- タクシー会社として電気自動車を活用するにあたり、充電問題（次のお客様にご利用いただくまでに充電が間に合うかどうか）等の懸念事項がありましたが、設備を揃えることによって支障のない運用が可能になりました。